

会 議 録

会 議 名：北杜市公共施設等総合管理計画等検討委員会（令和３年度第３回）

開催日時：令和３年１１月２５日（木） 午前１０時３０分～午後０時

開催場所：北杜市役所 ３階 大会議室

議事次第：（１）北杜市公共施設等総合管理計画改訂の素案等について
（２）その他

会議資料：会議次第・名簿・北杜市公共施設等総合管理計画等検討委員会設置要綱、議事資料

会議の公開・非公開の別（非公開の場合はその理由）：公開

傍聴人の数（公開した場合）：なし

出席委員：藤原真史、矢野 望、小川 昭二、船木 良、村田 茂、清水 精、矢崎 憲恒

欠席委員：矢崎 茂男

事務局：上村市長、小林副市長、宮川政策秘書部長、中田企画部長、田中企画課長、進藤財政課長、
齊藤企画担当リーダー、本荘企画担当、奥石企画担当

会議録署名委員：矢崎 憲恒、矢野 望

1. 開会

2. 委員長あいさつ

3. 市長あいさつ

4. 議事（議長 藤原委員長）

（1）北杜市公共施設等総合管理計画改訂の素案等について

- ・事務局より、北杜市公共施設等総合管理計画改訂の素案等について説明した。

（質疑応答）

委員 ・北杜市公共施設等総合管理計画（以降、本計画）の上位計画として北杜市行政改革大綱（以降、大綱）がある。その大綱の検討の中で、図書館は3館、中学校は2～4校にする等の具体的話が出てきている。本計画については、大綱に沿った内容となるのか。それとも、大綱とは別の形での記載となるのか。

事務局 ・本計画は、あくまで施設全体の面積の縮減目標を定めるものである。その中で、本計画では、施設類型ごとの方針において、上位計画である大綱を踏まえた大まかな方針を記載しているが、施設の個数等の具体的内容については、来年度策定予定の個別施設計画の中で検討、記載していくことになる。

委員 ・本計画と大綱の策定期間はどのような見込みか。

事務局 ・ともに本年度中の策定を予定している。

委員 ・本計画と大綱での記載内容の具体性が異なるため、策定のタイミング等足並みを調整したほうがよい。

委員 ・素案のP18の橋りょうの老朽化について、他市との比較において「ほぼ同程度」とあるが、グラフを見ると言葉がやや違うのではないかと感じるがいかがか。

事務局 ・他市よりも本市のほうが低い傾向があるため、「やや低い」等に修正する。

委員 ・インフラの他団体の比較において、上水道のみ、比較の仕方が異なっているが、理由はあるのか。

事務局 ・上水道のみ、他と同様のデータ入手が不能であったため、比較の仕方が異なっている。

委員 ・素案のP45の表中に「私立病院」との記載があるが、誤りか。

事務局 ・誤字である。正しくは、「市立病院」であるため、修正する。

委員 ・公共施設の老朽化について、素案中で「公共施設の築年別整備状況の推移」、「有形固定資産減価償却率の推移」の2か所で触れているが、他自治体との比較における北杜市の特徴について「比較的新しい」「大きな差はみられない」との2つの異なる記述があるため、整合させたほうがよい。

事務局 ・「公共施設の築年別整備状況の推移」については現計画の記載内容を引用しているが、策定から5年経過していることから、当該部分の記載を更新する中で整合させたい。

委員 ・本計画については、公表した際に市民の方にある程度危機感を持っていただきたいと感

じている一方で、40%縮減の言葉だけを聞くとすぐに施設が減るのではないかと必要以上に市民の方に不安を与えてしまうのではないかと危惧している。30年計画であるため、すぐ縮減されるわけではない点をうまく説明してほしい。

- ・「最適配置」という言葉が計画の中で使われており重要であると感じているが、「老朽化」や「経費の増大」を踏まえると、例えば、一時時期にある地域に老朽化施設が集中し、その地域で廃止が進んだため、一時的にその地域で施設が少なくなってしまう等の事態が想定されるかもしれない。また、施設によっては、観光や歴史文化、自然等の北杜市の特性を活かした重要なものもあり、一概に縮減を行うばかりではないと考えられる。本計画は30年後の地域づくりを目指すものであるため、その中で、どう「最適配置」と「老朽化や経費の増大への対応」を両立しながら実現していくかが重要であり、その辺りの素案中での記載はあるのか。

事務局 ・単に減らすだけではなく、施設の価値や機能を高めることも考えていきたいと考えている。例えば、素案P48では「複数の施設のサービスを一か所に集めることで、施設総量の縮減とサービスの継続を両立しつつ、利用者の利便性向上や施設の有効活用といった相乗効果を得る」と記載している。

委員 ・P53にも「最適配置を検討するに当たっては、こうした施設ごとの主な利用圏域を基本としつつ、施設の利用状況やコスト状況、代替性といったソフト面の観点と老朽化状況や防災状況等のハード面の観点より施設を総合的に評価した上で、今後の方向性を検討していくとともに、個別の方針が決まったものについては、計画の見直しの際に、反映させることとします」との記載があり、この点も踏まえながら、説明や取組みを進めてほしい。

委員 ・インフラ関係の更新費用の推移において、P35においては、注記で「平均額を代入」とあるが、P29、P33には注記がないため、同じ考え方であれば、同様に注記を記載したほうがよい。

委員 ・素案中で「更新費用」という言葉が通常使われているが、P35、36で「更新等費用」となっているが、言葉の使い分けがあるのか。

事務局 ・誤字のため、「更新費用」に修正したい。

委員 ・整備・改修費用の将来の目標について、P46の図では22.2億円/年となっている一方で、P48の図では17.1億円/年となっているように見えるが、どのような違いや考え方があるのか。

事務局 ・17.1億円/年まで費用を削減するためには、施設面積の55%縮減を行う必要があるが、今回は、数値目標を40%縮減として緩和している。そのギャップを埋めるべく、P46の図では、追加の取組みとして管理運営費の削減効果を見込むとともに、P48では反対に新たな財源の確保を目指しており、費用と財源の双方の視点からさらにギャップを埋めていく考え方を示している。

委員 ・説明を聞いて理解した。説明いただいた内容がより伝わりやすいよう記載内容を工夫したい。

- 委員 ・ 計画期間が 30 年となっているが、例えば、P50 の「固定資産台帳等を活用した公共施設等の情報管理体制を構築」といった短期間で実現可能な内容も含まれている。他の自治体での計画でも見られる記載ではあるが、短期間で実施することがわかるような記載にしてはどうか。
- 事務局 ・ 実際の情報管理体制には、どのようなものとなるか今後検討が必要となっている。今後、記載内容含め、整理・調整を進めたい。
- 委員 ・ 施設面積を減らすと維持経費が減るが、合わせてそこで働く職員の人件費が減ることも想定されるが、本計画では人件費も考慮しているのか。なお、個人的には、施設面積が減ったとしても、サービスを維持するにあたっては、ある程度の職員が必要であるため、一概に人件費が下がるとは考えていない。
- 事務局 ・ 本計画では、ハードに関する改修費等を考慮しているが、人件費は考慮していない。ただし、来年度策定予定の個別施設計画においては、人件費を含む管理運営費を含めた中で整理を進めていくことを検討している。
- 委員 ・ 北杜市は面積が広いと維持が難しいと感じているが、道路は重要なインフラであるため、道路の維持管理にも注力してほしい。
- 委員 ・ P34 以降の「個別施設計画に基づく対策効果を反映した経費見込み」において、特に上水道について、更新費用が対策により大きく減額となっているが、どのような要因か。
- 事務局 ・ 公営企業会計の独立採算であり、財政収支の見通しを厳しく立てている。その中で、財政的に現実的に実施可能な対策を行っていく見通しを立てたものが「北杜市水道施設中長期整備計画及びアセットマネジメント」であり、それに基づいた事業費の見通しであるため、費用が抑えられている。
- 委員 ・ 国の改訂指針及び見直しの留意事項の中で、状況に応じて記載するものとして「広域連携」があるが、素案中で記載はあるか。
- 事務局 ・ P54 にて「広域連携の方針」を記載している。
- 委員 ・ 過去に策定した最適配置の基本方針や公共施設白書の取り扱いは？
- 事務局 ・ 基本方針については、来年度の個別施設計画の策定に合わせて見直しを考えている。公共施設白書については、直近は、国から対応を求められている本計画と来年度の個別施設計画の策定に注力し、その後、取り扱いを検討したい。
- 委員 ・ 本計画の計画期間は 30 年間であるが、実行にあたっては、5 年や 10 年で区切るのか、それともさらに細かく年次区切りとして実行していくのか。
- 事務局 ・ 来年度の個別施設計画の策定においては、10 年区切りを想定している。
- 委員 ・ 30 年近く経過して急激な縮減を行って数値目標の 40%縮減に近づけるといふようなことがあってはいけないと考えているが、計画の進捗管理はどのように考えているか。

事務局 ・10年毎にある程度の目標を定めながら、進捗管理を行うことをイメージしている。

(その他、意見等なし)

(2) その他

(意見等なし)

5. 閉会

以上